婦人と新社會

山田わか主筆

十二月號

帝都復興と新聞

惡風潮を醸造する新聞

報道を急いで記事を捨る新聞

悲慘なる加州在住同胞

個人的に裏切られたフローリンの苺栽培者

國家的に裏切られた加州在留日本人

我が震災に對する同情と在留日本人に對する亂暴

全國公娼廢止期成同盟會の設立

『必要』の迷妄

無知であることが一層悲慘

全國婦人の蹶起を望む

運動とそれに對する陰謀

亡き兒によする

大正九年二月二十三日第三種郵便物認可
大正十二年十一月二十七日印刷納本

毎月一回一日發行　第四十五號　大正十二年十二月一日發行

東京府下　婦人と新社會發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

山田嘉吉著

定價二圓五拾錢（送料十五錢）

新刊

現代社會學

發行所　專修大學

東京市四谷區南伊賀町四一

取次所　婦人と新社會社

振替東京五三六八八番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

帝都復興と新聞

かたちに現れた我が帝都は潰滅してしまいました。けれども、帝都を建設した精神は生きて居ります。

我が帝都は必ず再建設されるべきものであります。が、再建設されるに付ては單に舊を追ふのであつてはならない。云ひかへれば、單なる復舊ではなく復興でなければならないと云ふことは誰でも御承知してゐる事實です。

處で、其の復興には精神の復興、他の言葉を以て云へば精神の改造が先づ無ければなりません。あらゆる方面に於ける精神の改造が必要でありますが、私は今新聞の精神に付て一言云つて置きたいと思ひます。

惡風潮を醸造する新聞

現今に於て、最多數の人々が最大苦痛の一ッとして居ることは、社會秩序と云ふも

のが非常に亂れてゐると云ふことです、子は親を無視し、生徒は先生を輕視し、國氏は政府當局を罵倒するのが流行となつてゐると云ふことです。

こう云ふ風潮がよつて起つて來た原因はいろ〳〵あるとしても其の最大原因の一ッは今日の諸新聞に散見される無責任な記事や彌治的言論が其の風潮を醸造したと私は觀測して居ります。

政府當局者、權力者、財産家が必らずしも正しい人ばかりではない、聰明な人ばかりではない。であるから、彼等に對する嚴正批判は其れがどんなに峻烈であらうとも其れは必要であり、有益であります。彼等に私共が盲從しなければならないと云ふ理由は毛頭ありません。けれども、此の頃の諸新聞の傾向は、唯、徒らに惡罵を投げ、與太を飛ばしてゐるに過ぎない。そして、それを見る青年子女の未熟な頭は理非の判斷を下す力はなく、唯々、大きいものに楯つく其の氣分が何とも痛快であるので忽ち其れに染つてしまいます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

年少者が年長者に、一般國民が權力者に盲從せしめられたのは因習の久しきものでありました。けれども、其の因習の殼を打ち破つてしまつた後にも其處には必然一應の尊敬を拂はねばならぬ要素が殘つて居ります。

それをも打ち捨てゝしまうならば世の中は全くの闇です。社會秩序は全然破壞されて私共はもとの野蠻狀態に歸らねばなりません。

私は此處に新聞業者の反省を促し、言辭を愼しまねばならぬことを勸告して置きます。

報道を急いで記事を捨てゝ行く新聞

ついでにもう一苦言新聞業者に呈します。

震災後の人心は見ようによつては落ち付たと云へば云へないこともないが、併しまだ本當には落ち付てゐません。まだ納まり切らぬらしい餘震にはキモを冷され、殊に火事には神經過敏になつてゐます。ですから、十一月十六日正午十二時頃高等師範學

校が燒けた時にも東京市民は可なり其の神經をいらだゝせられました。そして、誰も彼もが夕刊の配達を待ち詫びて火事の詳細を知らうとしました。

處で、配達されて來るどの夕刊にも〳〵其の火事の記事が載つてゐない。(私がとつてゐる新聞は東京朝日、時事新報、日々、報知、讀賣、萬朝です)それでも僅かに萬朝が欄外に七行ばかり書いただけでした。市民が知つても知らなくてもよいような單なる痴情關係事件を早く報道するためには數百圓數千圓の費用も惜しいとしてゐないと云ふことを常に聞かされてゐる私は其の日の十二時頃の出來事を報導しない諸新聞の良心と云ふものを疑はずには居られなくなりました。

夕刊を早く出そうとする競爭があると云ふことも聞きましたが、勿論、それは少しも多く賣ろうとする營業政策から來てゐるのでせうが、併し、早く出そう〳〵とする方に氣を取られて其の日の重要記事を捨てゝ行つたのでは社會の耳目をもつて任じてゐる手前、新聞營業者自身がきまりが惡くはないでせうか？

悲惨なる加州在住同胞

米國加州外人土地法に關する米國からの電報は十一月十七日の諸新聞夕刊に出て居りますが其のうちで朝日新聞をとつて見るならば『手も足も出なくなつた加州在住同胞』と云ふみだしの下に『米國大審院が加州並に華盛頓州の外人土地所有禁止法を以て米國憲法に適合する旨の判決を與へた……右の判決の結果として加州在留日本人十三萬五千人中五萬人は他の州に移住するか若しくは日本に歸還することになるのであらう。現在加州に於ける日本人租借地は最も豊饒なる農園百萬エーカー乃至百五十萬エーカーで加州農産物の八割は日本人によつて栽培されてゐるが今後夫等の土地は白人の所有に歸することになる……』

個人的に裏切られたフローリンの苺栽培者

これを讀んで直ちに思ひ起さるゝことは今から二十有餘年以前加州フローリンに於

て矢張り我が同胞日本人が白人から實に苛酷な目にあはされたことであります。フローリンと云へば、加州に於ける苺の產地として第一位を占めてゐるのですが其の土地がさうなる前には唯單なる茫漠たる原野であつたのです。從つて、地價と云ふものは有つてもまるで無いと同じようなものでした。其處で、其の土地の持主は日本人を利用することを考へました。『土地を無代で借した上に、農具も肥料も借地人の食料も供給する。但し、土地は苺栽培を目的とし、そして苺收穫に當つては、第一收穫は全部地主のもの、第二收穫は半分わけ、第三收穫が全部借地人のもの』と云ふ契約でありました。苺の收穫は苗を植へ付けてから確か三年目が四年目だつたと思ひます。何しろ最初は土地を無代で借りて食料の供給迄もあると云ふので多くの日本人が其の契約を取り結びました。

最初の三年乃至四年彼等は原野の開墾に全精力を費しました。そして、いよ〳〵苺が取れるようになりました。すると、第一收穫の時には所謂ハシリですから一箱が二

弗位に賣れ、そして、これが全部地主のもの、第二收穫が五十仙位、そして、それが半分わけ、第三收穫になると何貫目がいくらと云ふ所謂捨て價で罐詰會社へ賣らなければならない。して見ると何十年働いた處が土地が自分の所有に歸するわけではなく土地を買ふ程の金が出來るではなし、要するに、割りのよさそうな契約條件に目をくらまされて、事實に於ては無給料で土地を開墾してやつたに過ぎないと云ふことに彼等は氣付きました。

其處で、彼等は契約のし直しを地主に迫りました。其れが地主の待つてゐた處だつたのです。『其の契約が氣に入らなければ出て行つて貰ふ。』ピタリさう云つて後は取り合ひません。長の年月心血を注いだ土地に執着があつても將來に何等の見込みもない處に居ても仕方がないので彼等は、血の涙を流しながら其の土地を見捨てました。するとどうです。彼等が手に入れる前には殆んど無代價であつた土地が一エーカー六百弗位で賣買されるようになりました。苺産地としてフローリンが加州に於て第一位を

占むるようになつたに付て、かくの如くにして開墾されたのです。

國家的に裏切られた加州在留日本人

我が同胞が全然、土地開墾の手段に利用され、目から火の出るようなひどい目にあはされた事實を見聞してゐる私共は、其の頃地主が個人的に實行して居たことを、今度は米國大審院の判決によつて國家的に實行するのであるように考へられてなりません。加州在留日本人五萬人が辛苦粒々殆んど一生を賭し、百萬有餘エーカーの土地を豐饒なる農園と爲し、そして、其の利益の全部を白人の手に奪はれ其の土地から今追はれようとして居るのです。

我が震災に對する同情と在留日本人に對する亂暴

今回の我が帝都の震災に米國が現した同情に對しては私共は感謝するに吝でないつもりで居ります。けれども、前述の如き我が同胞に對する苛酷な取扱ひ方が存在する事實を何と考へたらよいでせう。我が國に同情を寄せる者と、在米日本人を苛酷に取

り扱ふ者とは人が別であると云ふ論者があるかも知れません。けれども、其の同情と云ひ、其の苛酷な取り扱ひと云ひ、要するに米國人の輿論が其處に結晶するのであつて、矢張り米國精神の現れに外ならない。して見ると私共は米國に對して感謝していゝのか、恨んでいゝのか、不省にも自分の態度を決するに迷ふて居る次第であります。

亡き兒によする

原田琴子

おまへの體はあのＹ川のほとりの小丘の中に埋まつて居る。今はおまへの體もあの硝子の瓶に入つたお菓子も、それから田舍へ來る前の日に丸善から買つて來たあの英字のお伽本もみんな腐つてしまつたであらう。けれどおまへの魂ひは、あの聰明だつた頭腦はどこへ行つてしまつたのか、私はそれを思ひ惱んでゐる。

おまへのかわいゝ聲をもう聞くことが出來ないのは、私はあきらめる。しかしおまへの魂ひがどこにあるのか、それを知らずにはすませない。無に歸したものならば、さうと、たしかに知りたい。在るものならば、どこにあるか、觸れることが出來ずとも知りたい。

太郎よ、私は自分の心靈の稀薄なのをいたましく思ふ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

全國公娼廢止期成同盟會

震災救助及び帝都復興の問題を中心として成立した東京婦人聯合會有志は此の機を期して全國の公娼徹廢を實現するために新たに全國公娼廢止期成同盟會を組織しました。全國民に訴へて幾百年來の國民的汚辱を雪ぎ東京と共に葬り去らうとするものであります。

此の會の運動が國民的の反響を起し、一重大なる輿論の風となり、遊廓を存置せしむる國民的要素、則ち、淫蕩なる弊風を吹き飛ばしてしまうことを私はひたすらに祈つてゐます。

『必要』論の迷妄

古來『必要』と云ふことが賣笑婦を存在させる一ツの理由となつてゐましたが、併し、新しく生れた人道的精神は、此の恐るべき悪德が必ずしも人間生活に必要であるかど

うかと云ふことを疑ひ始めました。そして、その疑ひが或る學者をして此の方面を調査せしめました。すると其の結果、賣笑婦に接近して行く男子の七八割は有妻男子であると云ふことが明らかになりました。して見ると、必要と云ふことは獨身男子のために云ふに外ならないのでありますから其の『必要』と云ふ議論は破壞されてしまつたわけです。つまり、女子を一個の人格者として見る習慣を持たない、男子がもの云ふおもちやを弄ぶ快感を貪らうとする最も惡性な弊風が賣笑婦を存在せしめて居るのです。

一方賣婦の側を考へて見ると、私が云ふ迄もなくそれは實に憐むべきものであります。私は今から四年以前に『賣娼婦の研究』と云ふ一冊を反譯して其の序文に次のように書いて置きました。

無知であることが一層悲慘

シエキスピーアの劇『ジユリアス・シーザー』のうちのブルータスやカシアスの死は同じ死でも『オセロ』のうちのデスデモナや『ロメオとジユリエツト』のうちのジユリエ

全國公娼廢止期成同盟會

震災救助及び帝都復興の問題を中心として成立した東京婦人聯合會有志は此の機を期して全國の公娼徹廢を實現するために新たに全國公娼廢止期成同盟會を組織しました。全國民に訴へて幾百年來の國民的汚辱を雪ぎ東京と共に葬り去らうとするものであります。

此の會の運動が國民的の反響を起し、一重大なる輿論の風となり、遊廓を存置せしむる國民的要求、則ち、淫蕩なる弊風を吹き飛ばしてしまうことを私はひたすらに祈つてゐます。

『必要』論の迷妄

古來『必要』と云ふことが賣婬を存在させる一ツの理由となつてゐましたが、併し、新しく生れた人道的精神は、此の恐るべき惡德が必ずしも人間生活に必要であるかど

これ[illegible]。そこで、その[illegible]が或る學者をして此の方面を調

査させ[illegible]男子の七八割は有妻男子で

[illegible]と云ふことは獨身男子のた

[illegible]破壊されてしまつた

[illegible]男子がもの云ふお

[illegible]存在せしめて居るのです

一[illegible]實に慎むべきものであります

[illegible]の結果に次のよう

[illegible]

[illegible]ることが一[illegible]

[illegible]ブルー[illegible]カンアス[illegible]

[illegible]ヨメオ[illegible]ツエノエフ[illegible]リ[illegible]

[illegible]

全國公娼廢止期成同盟會

震災救助及び帝都復興の問題を中心として成立した東京婦人聯合會有志は此の機を期して全國の公娼徹廢を實現するために新たに全國公娼廢止期成同盟會を組織しました。全國民に訴へて幾百年來の國民的汚辱を葬き東京と共に葬り去らうとするものであります。

此の會の運動が國民的の反響を起し、一重大なる輿論の風となり、遊廓を存置せしむる國民的要素、則ち、淫蕩なる弊風を吹き飛ばしてしまうことを私はひたすらに祈つてゐます。

『必要』論の迷妄

古來『必要』と云ふことが賣婬を存在させる一ツの理由となつてゐましたが、併し、新しく生れた人道的精神は、此の恐るべき悪徳が必ずしも人間生活に必要であるかど

うかと云ふことを疑ひ始めました。そして、その疑ひが或る學者をして此の方面を調査せしめました。すると其の結果、賣笑婦に接近して行く男子の七八割は有妻男子であると云ふことが明らかになりました。して見ると、必要と云ふことは獨身男子のために云ふに外ならないのでありますから其の『必要』と云ふ議論は破壞されてしまつたわけです。つまり、女子を一個の人格者として見る習慣を持たない、男子がもの云ふおもちやを弄ぶ快感を貪らうとする最も惡性な弊風が賣笑婦を存在せしめて居るのです。一方賣婦の側を考へて見ると、私が云ふ迄もなくそれは實に憐むべきものであります。私は今から四年以前に『賣娼婦の研究』と云ふ一册を反譯して其の序文に次のように書いて置きました。

無知であることが一層悲慘

シエキスピーアの劇『ジユリアス・シーザー』のうちのブルータスやカシアスの死は同じ死でも『オセロ』のうちのデスデモナや『ロメオとジユリエット』のうちのジユリエ

ットやロメオの死程悲劇でありません。と云ふのはブルータスやカシアスは確固とした覺悟がありました。最初から死ぬ覺悟でするだけのことをして退け、そして、死ぬ時期が來た時に潔く死んだのです。それに引きかへデスデモナやジュリエットは少しも死ぬつもりではありませんでした。死ぬ氣などは少しもなく殺されるとは少しも豫想せず、不圖死んでしまつたのです。いはゞ暗打ちであつたのです。何の考へも覺悟もないのに死なねばならなかつたことは實に悲劇中の最大悲劇であります。

其の意味で賣笑婦の生活は悲慘なのです。どうして自分は賣笑をせねばならぬか。其の生活がどう云ふ風に自分の心身を害しつゝあるか。社會にどんな影響を與へつゝあるか。自分の將來はどうなるかと云ふやうなことに付いて考もせず、知りもせずに平氣で我れと我が心身を喰ひ破りつゝ、墮落を重ねつゝ、社會を毒しつゝ居るから一層悲慘なのです。併し、彼女達が考へもせず、知りもせずに居ると云ふのは實に無理のないことであるのです。もし、彼女達が賣笑の意義や、其れが自分自身、及び周圍

に對する影響に付いて考へて見る頭腦を持つてゐる位ひなら彼女達は始めッから其の生活に這入つては行かなかつた筈ですから。

彼女達が其の生活に這入つて行くのは全く自然であるのです。水が低きについつて流れて行くやうに彼女達は自然に其處へ押し流されて行くのです。この社會には淫賣と云ふ大きな川があつて、それから貧困と云ふ支流がいくつも〳〵あるのですから、其の貧困と云ふ支流のふちに立つて居る娘達は、勿論例外はありますが、スル〳〵〳〵と押し流されて行つてしまうのです。押し流されて行くことが善いか惡いかなど考へて見る餘裕もなし、又考へ得る頭腦も造つて貰つて居ないのですから、本當に彼女達は全く夢我夢中で其の惡德の淵に沈んで行くのです。

母親に死なれた幼兒が、現在の自分の憐れな狀態には全く無關心にニコ〳〵笑つて居る顏を見て誰が涙を流さずに居られませう。實に賣笑婦は彼女達自身の位置を知らずにゐるから一層悲慘なのです。

全國婦人の蹶起を望む

私共同性のうちの幾萬人かが精神的にも肉體的にも全く奴隷の生活に呻吟してゐる其の苦腦に刺戟せられ一度覺醒した人道的精神が其の不正を此の地球上から拭ひ取つてしまふ迄は斷じてたゆまない、其の精神を益々强固に益々偉大に培養して行つて、そして、國民的の骨がらみとなつてゐる疾患、則ち淫蕩的氣分を此の地球上から一掃し盡そうとする意氣が各婦人の胸のうちにいよ／＼盛んになつて、全國公娼廢止期成同盟會の事業を援助されることを望みます。

運動とそれに對する陰謀

進歩とは或る意味に於て勝利であつて、勝利と云ふことは戰ふことを前提とし、戰ふと云ふことは敵を前提とします。で、大なる進歩を實現しようとすれば運動も大々的となり、從つて、其の敵も大きなものとなります。

婦人の運動に對する今日迄の敵は上調子のものでありました。婦人運動者に對して

悪口を云ふ位のものでありました。けれども婦人が實際の力を得て着々と進んで行くに從つて其の敵の性質もだん〳〵違つて來ます。其の順序を申ますなら、始めは罵倒的其の次は議論的、そして、其の次には政治的經濟的と云ふことになります。

我が國婦人の運動はいよ〳〵其の最後の政治的經濟的に打つて出る時に到着致しました。そして、只今の目前の敵は一種の營業に從事、乃至・投資してゐる人々でありますす。たとへば、藝者屋・遊女屋、又は待合のやうなものです。そして、此處に私共の注意を要する點は其等の營業は決して單獨に立つてゐるものではない、必ずそれからそれへと、外面から見れば何等の關係がないようで實は深い關係を持つてゐて、其等の關係ある者が共同して打つて一丸となつた力をもつて、自分等の不利益となるであらうと想像される運動に對して陰謀を廻します。

罵倒的、議論的の敵は何等恐るゝに足りないものでありますが陰謀的の敵は私共の目に見へない、それだけ根強く且つ强力であることを私共は豫じめ承知して居なければならないと思ひます。其の實例は新年號に於て御紹介しようと考へて居ります。

編輯の後

大變貧弱な體裁の雜誌になりましたがせめて發行日だけは正確にしたいと考へまして本號の原稿も十一月二十日頃に印刷所へ廻して急いで取りかゝるように頼んで置いたのですが、此の際のことで印刷所の仕事もいろ／＼輻輳して居るらしくこちらの思ふようには仕事がはかどらず發行日が後れてしまいました。其の上に字數が澤山這入るように前號と同じようにポイント活字で組むつもりの處間違つて普通の五號活字で組み上げられてしまいました。皆樣の御諒察、御寛容の程を御願ひ致します。

あの大震災以來、既でに百日に垂々として居りますが併し、其の傷の跡はまだ餘まりに生々しく胸のつぶれる思ひをさせられることが至る處に展開されてあります。一昨日の日曜日には妹が――妹とは本誌に時々小品を出したり、時には本誌の校正を手傳つたり致しましたタイピストの加藤ひさで御座います――あの大震に命を取られた良人の法事をすると云ひますから私は久しぶりで妹の家へ行きました。職人を得ることが出來ないとかで玄關の天井は落ちたまゝ、敷居が曲がつてゐるとかで格子は外したまゝ、あちこちの壁はあんぐり口を開いたまゝで、妹の亡き良人の寫眞のみが在りし日のおもかげをいき／＼と浮き出させて居るのに思はず涙がせき上げて來ました。

良人亡き後は先妻の子供を七人も抱へて自分が一家の中心人物となつて生きて行かなければなりませんので、まだ餘震の烈しく續いてゐる九月十七日から泣いた目をふき／＼會社へ出て行く妹の姿は痛ましくも雄々しいものでありました。

一昨日の法事にもいそ／＼と快活にお客を接待したり御馳走の世話をやいたりして居る處は外面からは何にか嬉しいことでもあるかのように見へましたが、それは本當に嬉しかつたのです。生前極く親しかつた人々が大勢あつまつて下さつて良人の靈が喜んで居ろうと思つてゐるのでした。今の場合の妹は法事であるとか供養であるとかお墓參りであるとか云つて、とにかく、餘まりにも敢へなく此の世を去つた故人のため

に罪を謝して居ることが唯一の慰安であるらしいのです。法事にあつまつて下さつたお客様から頂いた果物其の他の品物を立派な飾つた佛前へ持つて行つては生きて居る人にもの云ふように「お父さんこんなキレイなものを頂きましたよ」と話しかけて居ました。

馬鹿々々しい、そんな形式をうそ事なと云ふ意見もありますが、併し、突然に全く突然に良人を奪ひ取られた心の痛手を、さうした形式のために時日を消して行くうちに幾分でも癒やされて行くならばと考へて私は妹の態度を非難しようとは思ひません「九月一日から四五日の間、うちの者は皆外へ避難して居たけれど、私は、父さんは會社で死んでも父さんの靈がやつぱり此の家へ歸つて來て居るように思はれるので、一人で留くのは可哀想だから、こんなに破れてしまつた家の中に、あかりが無くて寂寞でみてしたけれど一人で、いゝえ、父さんの靈と二人で居つて居ましたよ。子供達は皆外へ逃げて行つて居るのに二人だけが夫の靈と共に暗やみに縋付ゆられながら坐つて居たと云ふのですから、親子關係よりは夫婦關係の方が深いもの、ように私は思ふのですよ」とも、妹は云つて居ました。

何しろ、恐しい恐怖事變以來の路をマザ／＼殺して今年の秋も今や閉ぢられようとして居ます。お互ひ様に私共が生きて行くと云ふことはなかなか樂な仕事ではありません。けれども、幾分でも樂な生活を送ることが出來るように努力するのが私共生き殘つた者の義務でありませう。皆様の御身の上に幸多かれと祈つて今年最後の筆を擱きます。（十二月四日）

本誌臨時定價表

一册	金十錢	送料五厘
六册	前金五十五錢	（送料共）
十二册	前金壹圓	（送料共）

雜誌代及郵税は前金の事
御送金の際は振替貯金東京五三六八八番に御拂込みのこと
郵券代用は五厘切手にて一割増
廣告は御照會次第御相談いたします

大正十二年十一月三十日印刷納本
大正十二年十二月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人 山田嘉吉
東京市牛込區山吹町一八九
印刷人 大杉直次郎
東京市四谷區南伊賀町四一
發行所 婦人と新社會社
振替東京五三六八八

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

回山田わか著

再版

戀愛の社會的意義

○四六特三百五十頁
○總クロース美本
定價金貳圓○
送料金拾五錢○

目次大要

富を造る事と幸福を造る事——戀愛と結婚——戀愛に對する男子の態度——菊榮氏の『女も進んで求婚すべし』に附て——結婚道德の一ツ——墮胎に附て——戀愛の自由と本能——女子敎育の基調——産業機關は臺所のため——戀愛と藝術——家庭を追はれた産業婦人——婦人運動の歸着點——メレデスの靈肉觀——母と社會政革——婦人の智的生活——禽獸の親子關係（其他十七問題）

東京市四谷區南伊賀町四十一番地
發賣所 婦人と新社會社
振替東京五三六八八

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN